

卒業生のキャリア状況調査に対するアンケート結果について

【卒業生対象】

本アンケートは、東京農業大学の卒業生及び卒業生の就職先企業における働く上で必要とされている能力や経験、本学に対するお考え等をお伺いし、その結果を本学の教育改革に適切に反映して、教育の質向上を図ることを目的としたものです。

■ 調査概要

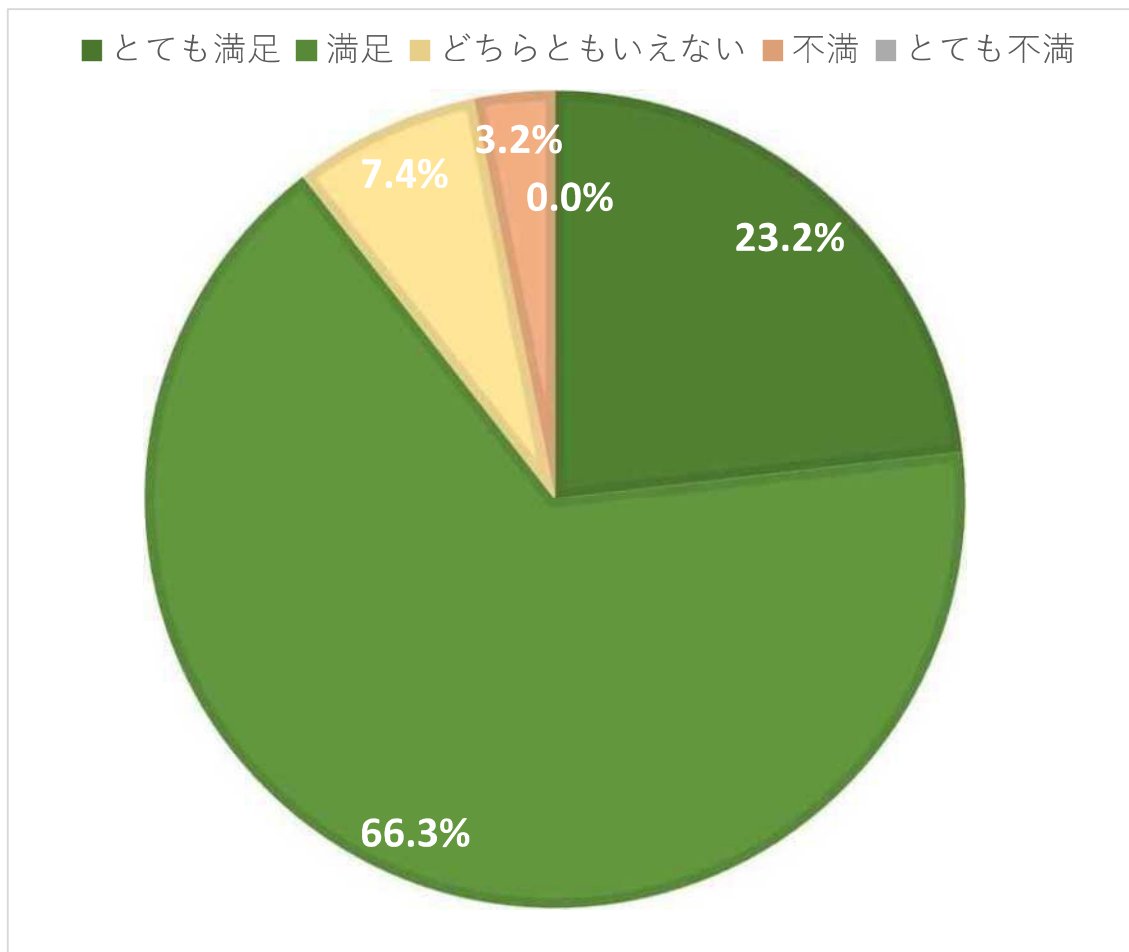
【卒業生アンケート】

調査対象	令和4年度卒生のうち、進路報告登録時において「大学行事への協力依頼があった場合協力する」と意思表示を頂き、かつメールアドレスが判明している方
調査期間	2024年5月15日～6月14日（32日間）
調査方法	①メーリングリストに基づき、アンケート協力依頼メールを配信 ②依頼メール記載のURLへアクセス頂き、回答 ※Microsoft Formsを利用 ※無記名方式にて実施
調査依頼数	468件
回答数	95件
回答率	20.3%
質問項目数	31問
平均回答時間	2分56秒

FACE1. 卒業学部・学科／研究科・専攻をお知らせください。

学部・学科／研究科・専攻	比率
応用生物科学部_栄養科学科	5.3%
応用生物科学部_醸造科学科	4.2%
応用生物科学部_食品安全健康学科	1.1%
応用生物科学部_農芸化学科	3.2%
国際食料情報学部_バイオビジネス学科	7.4%
国際食料情報学部_国際食農科学科	6.3%
国際食料情報学部_国際農業開発学科	5.3%
国際食料情報学部_食料環境経済学科	2.1%
生物産業学部_自然資源経営学科	2.1%
生物産業学部_食香粧化学科	3.2%
生命科学部_分子微生物学科	2.1%
地域環境科学部_森林総合科学科	2.1%
地域環境科学部_生産環境工学科	3.2%
地域環境科学部_造園科学科	2.1%
地域環境科学部_地域創成科学科	6.3%
農学部_デザイン農学科	3.2%
農学部_生物資源開発学科	2.1%
農学部_動物科学科	5.3%
農学部_農学科	5.3%
大学院_応用生物科学研究科_醸造学専攻	1.1%
大学院_応用生物科学研究科_食品安全健康学専攻	1.1%
大学院_応用生物科学研究科_農芸化学専攻	1.1%
大学院_応用生物科学部_醸造科学科	1.1%
大学院_応用生物科学部_食品安全健康学科	2.1%
大学院_応用生物科学部_農芸化学科	1.1%
大学院_国際食料情報学部_国際食農科学科	1.1%
大学院_生物産業学部_北方圏農学科	1.1%
大学院_生命科学研究科_バイオサイエンス専攻	4.2%
大学院_生命科学研究科_分子生命化学専攻	1.1%
大学院_生命科学研究科_分子微生物学専攻	1.1%
大学院_生命科学部_バイオサイエンス学科	1.1%
大学院_生命科学部_分子生命化学科	1.1%
大学院_地域環境科学研究科_地域創成科学専攻	1.1%
大学院_地域環境科学研究科_林学専攻	1.1%
大学院_地域環境科学部_生産環境工学科	1.1%
大学院_地域環境科学部_地域創成科学科	2.1%
大学院_農学研究科_農学専攻	2.1%
大学院_農学部_デザイン農学科	2.1%
大学院_農学部_動物科学科	1.1%
合計	100.0%

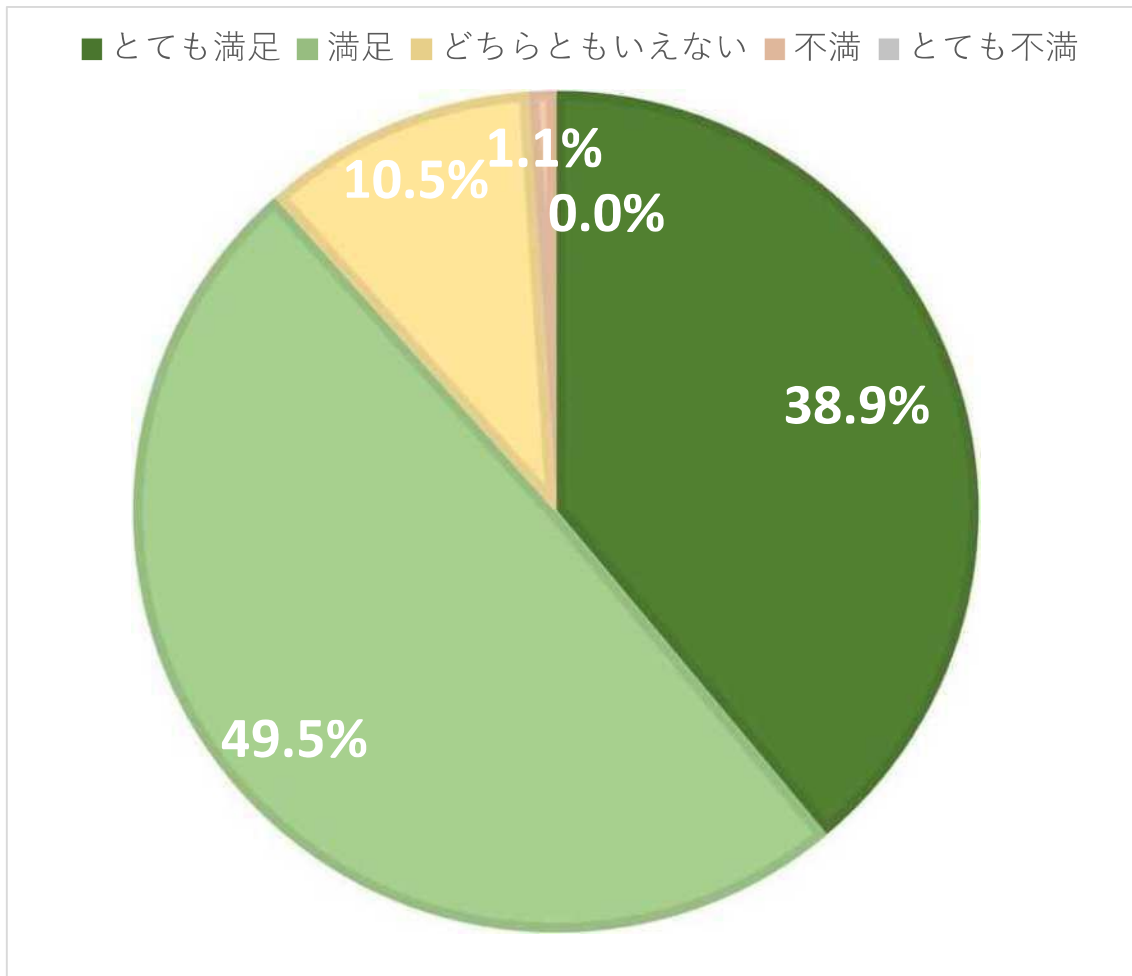
Q1. 本学の教育・研究は満足 of いくものでしたか。



項目	合計	比率
とても満足	22名	23.2%
満足	63名	66.3%
どちらともいえない	7名	7.4%
不満	3名	3.2%
とても不満	0名	0.0%
合計	95名	100%

・教育・研修について「とても満足」が22名（23.2%）、「満足」が63名（66.3%）と、約9割が満足しているとの回答だった。

Q2. 大学生生活を振り返って、学生生活は満足したものでしたか。

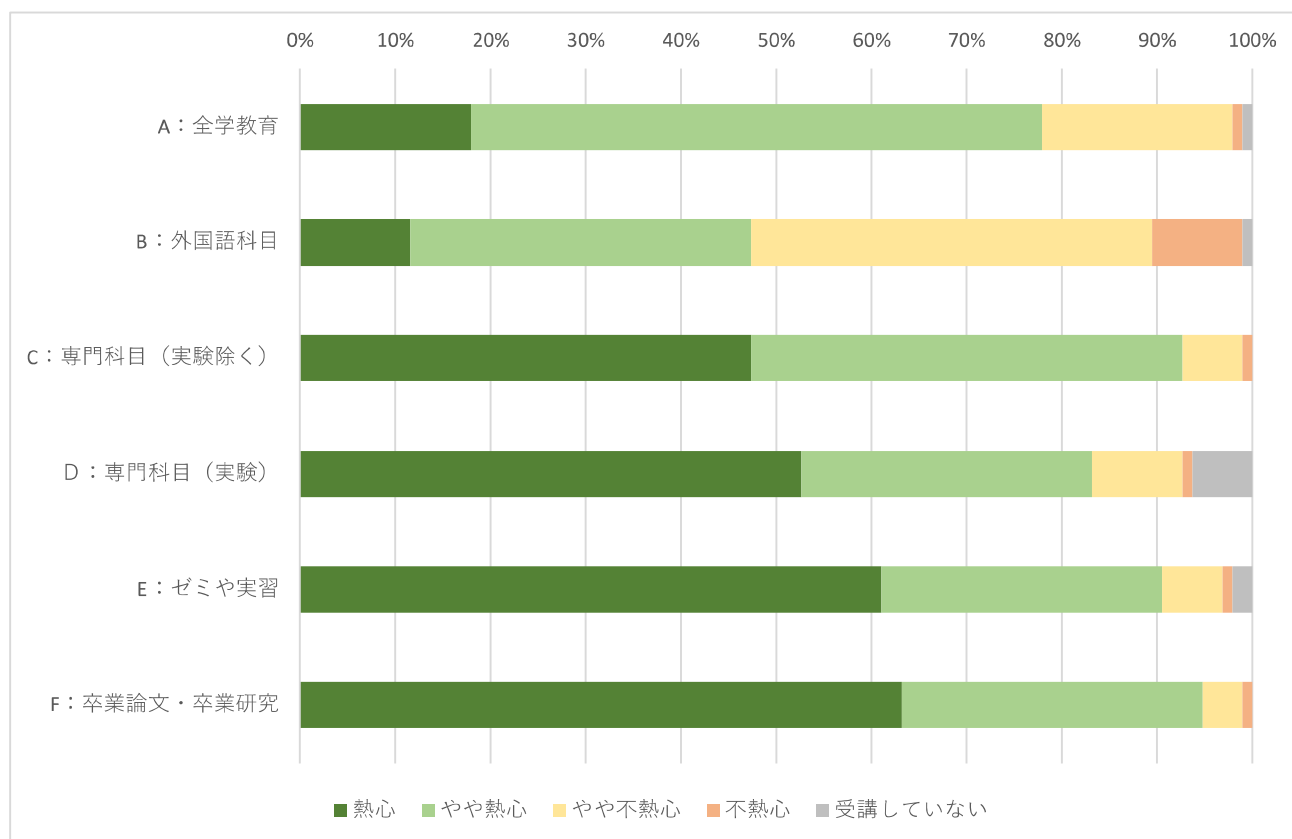


項目	合計	比率
とても満足	37名	38.9%
満足	47名	49.5%
どちらともいえない	10名	10.5%
不満	1名	1.1%
とても不満	0名	0.0%
合計	95名	100%

・大学生生活の満足度は「とても満足」が37名（38.9%）、「満足」が47名（49.5%）と約9割が満足しており、教育・学習への満足度と比較しても、「とても満足」と回答した方が15名多い結果となった。

Q3. 大学の授業科目について、どの程度熱心に取り組みましたか。

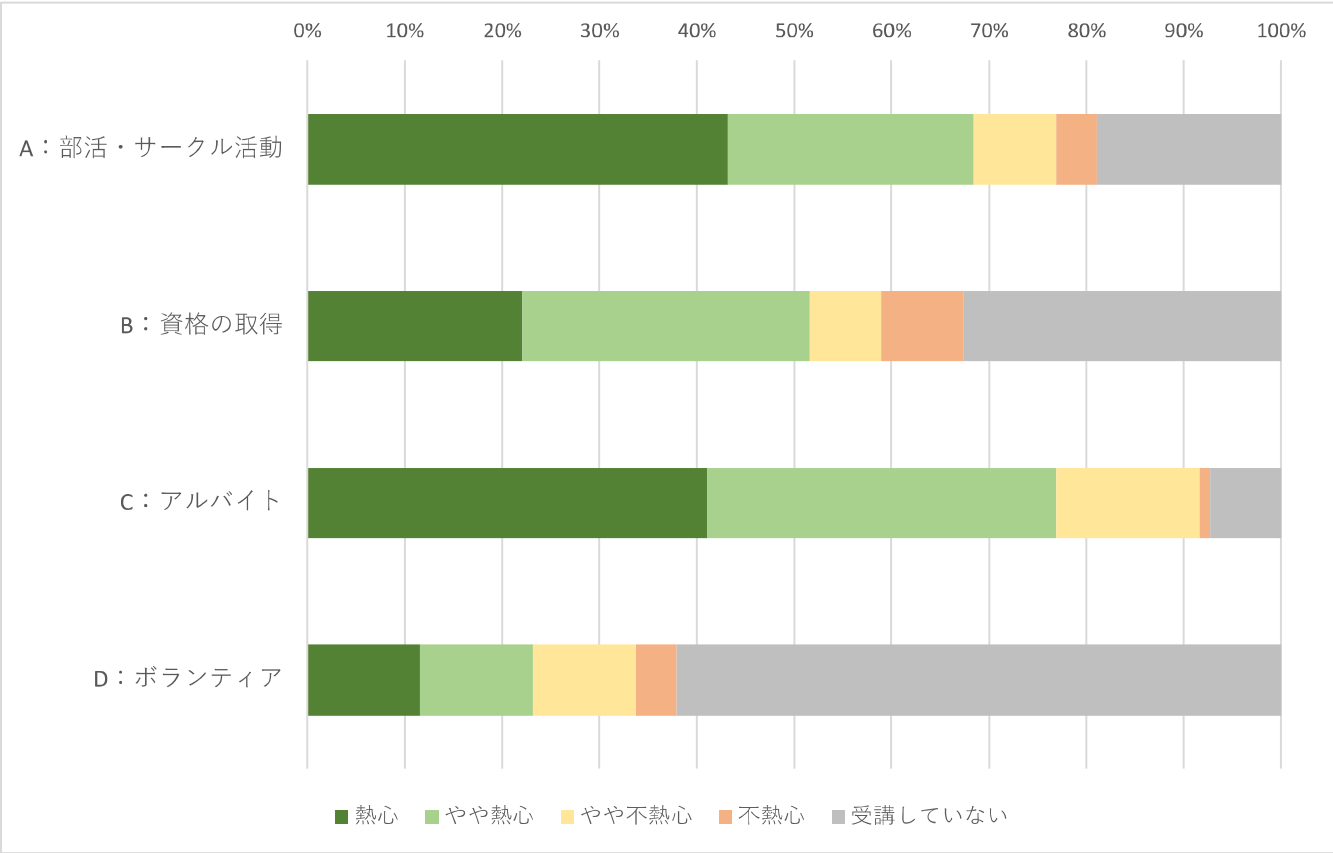
AからFまでの項目ごとにお答えください。



項目	熱心	やや熱心	やや不熱心	不熱心	受講していない	合計
A : 全学教育	17名	57名	19名	1名	1名	95名
B : 外国語科目	11名	34名	40名	9名	1名	95名
C : 専門科目（実験除く）	45名	43名	6名	1名	0名	95名
D : 専門科目（実験）	50名	29名	9名	1名	6名	95名
E : ゼミや実習	58名	28名	6名	1名	2名	95名
F : 卒業論文・卒業研究	60名	30名	4名	1名	0名	95名

- ・『A : 全学教育』については、「熱心」が2割、「やや熱心」も併せると8割近い回答。
- ・『C : 専門科目（実験除く）』『D: 専門科目（実験）』『E : ゼミや実習』『F : 卒業論文・卒業研究』についてはいずれも「熱心」が5割～6割、「やや熱心も」併せると8～9割の回答となった。
- ・一方、『B : 外国語科目』については、「熱心」「やや熱心」と「やや不熱心」「不熱心」がほぼ同数の回答となった。

Q4. 課外活動について、どの程度熱心に取り組みましたか。
AからDまでの項目ごとにお答えください。



項目	熱心	やや熱心	やや不熱心	不熱心	受講していない	合計
A：部活・サークル活動	41名	24名	8名	4名	18名	95名
B：資格の取得	21名	28名	7名	8名	31名	95名
C：アルバイト	39名	34名	14名	1名	7名	95名
D：ボランティア	11名	11名	10名	4名	59名	95名

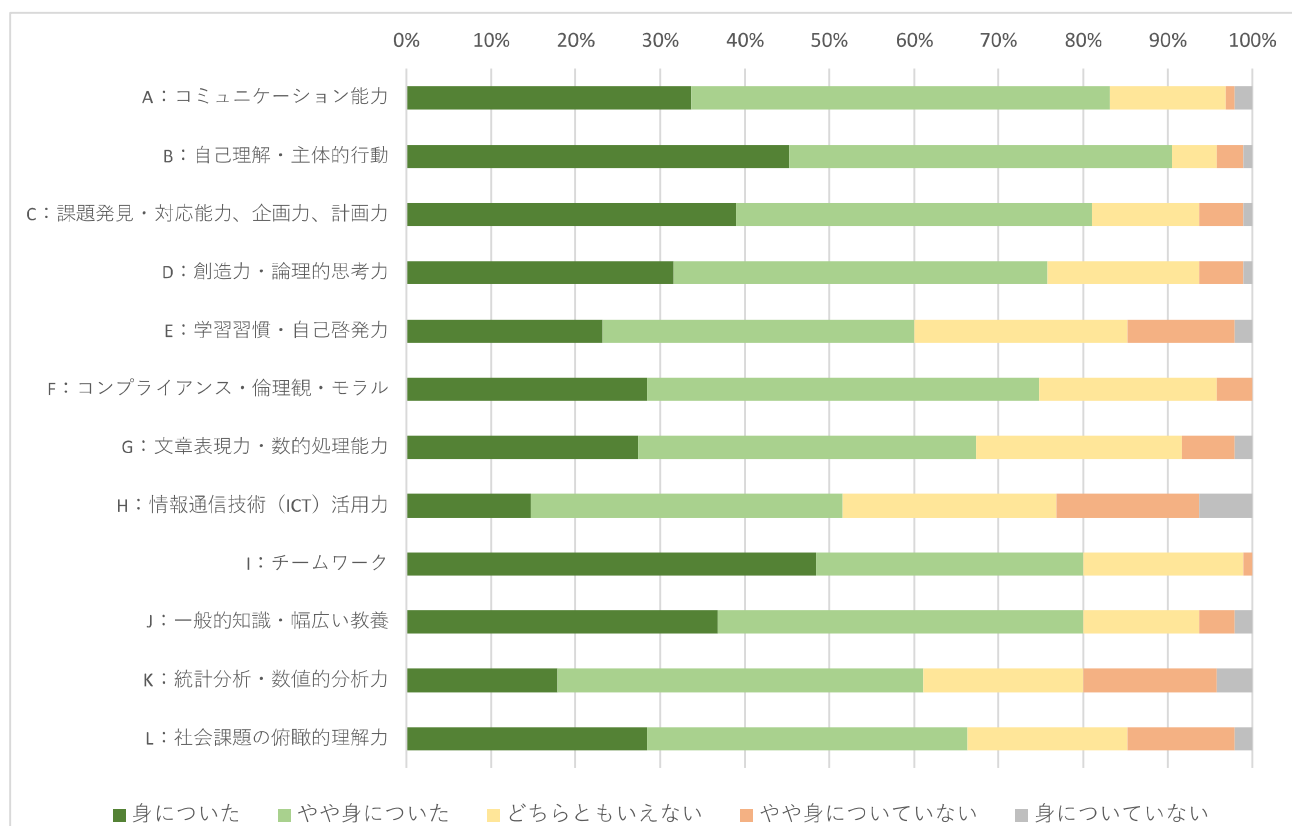
・課外活動について、一番熱心に取り組んでいたのが『C:アルバイト』の約8割、次いで『A：部活・サークル活動』だった。

・『B：資格の取得』については、5割が熱心・やや熱心に取り組んでいる一方、3割は実施なし。

・『D：ボランティア』については約2割が熱心・やや熱心な活動にとどまり、6割以上が実施していなかった。

Q5. 在学中に以下の力はどの程度身に付きましたか。

AからLまでの項目ごとにお答えください。



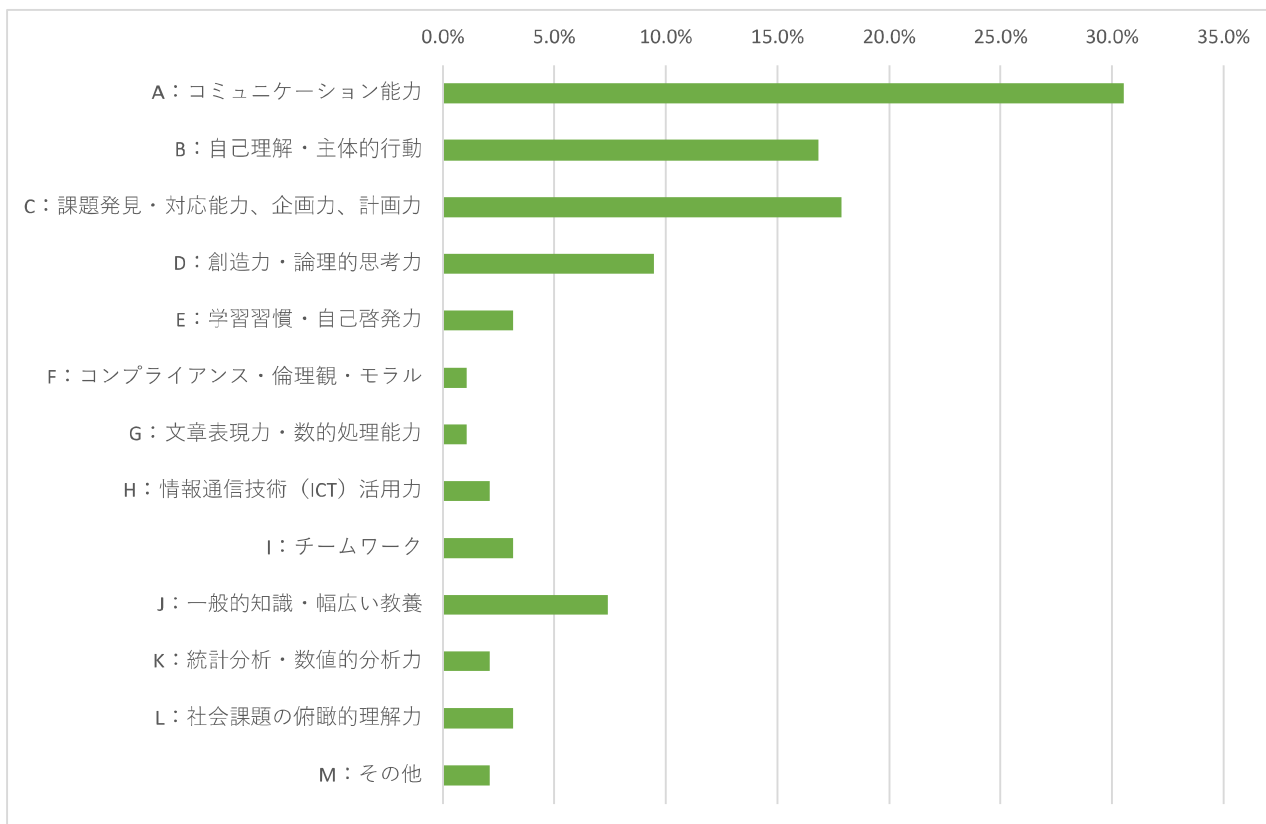
項目	身に付いた	やや身に付いた	どちらともいえない	やや身に付いていない	身に付いていない	合計
A：コミュニケーション能力	32名	47名	13名	1名	2名	95名
B：自己理解・主体的行動	43名	43名	5名	3名	1名	95名
C：課題発見・対応能力、企画力、計画力	37名	40名	12名	5名	1名	95名
D：創造力・論理的思考力	30名	42名	17名	5名	1名	95名
E：学習習慣・自己啓発力	22名	35名	24名	12名	2名	95名
F：コンプライアンス・倫理観・モラル	27名	44名	20名	4名	0名	95名
G：文章表現力・数的処理能力	26名	38名	23名	6名	2名	95名
H：情報通信技術（ICT）活用力	14名	35名	24名	16名	6名	95名
I：チームワーク	46名	30名	18名	1名	0名	95名
J：一般的知識・幅広い教養	35名	41名	13名	4名	2名	95名
K：統計分析・数値的分析力	17名	41名	18名	15名	4名	95名
L：社会課題の俯瞰的理解力	27名	36名	18名	12名	2名	95名

- ・「身に付いた」「やや身に付いた」が一番多かった項目は『B：自己理解・主体的行動』。
次いで『A：コミュニケーション能力』『C：課題発見・対応能力、企画力、計画力』
『I：チームワーク』『J：一般的知識・幅広い教養』となった。
- ・「やや身に付いていない」「身に付いていない」回答が比較的多かったのは『H：情報通信技術（ICT）活用力』
『E：学習習慣・自己啓発力』『K：統計分析・数値的分析力』となった。

Q5. その他、A～L以外で身に付いたことがあれば、お知らせください。

項目	8名
グローバルな交流能力	1名
ストレス回避能力	1名
フィールド調査能力	1名
価値観の違う人へのリスペクト	1名
自身の大学を批判する目	1名
人それぞれの生き方、視野の拡大	1名
他人と協力する力	1名
体力	1名

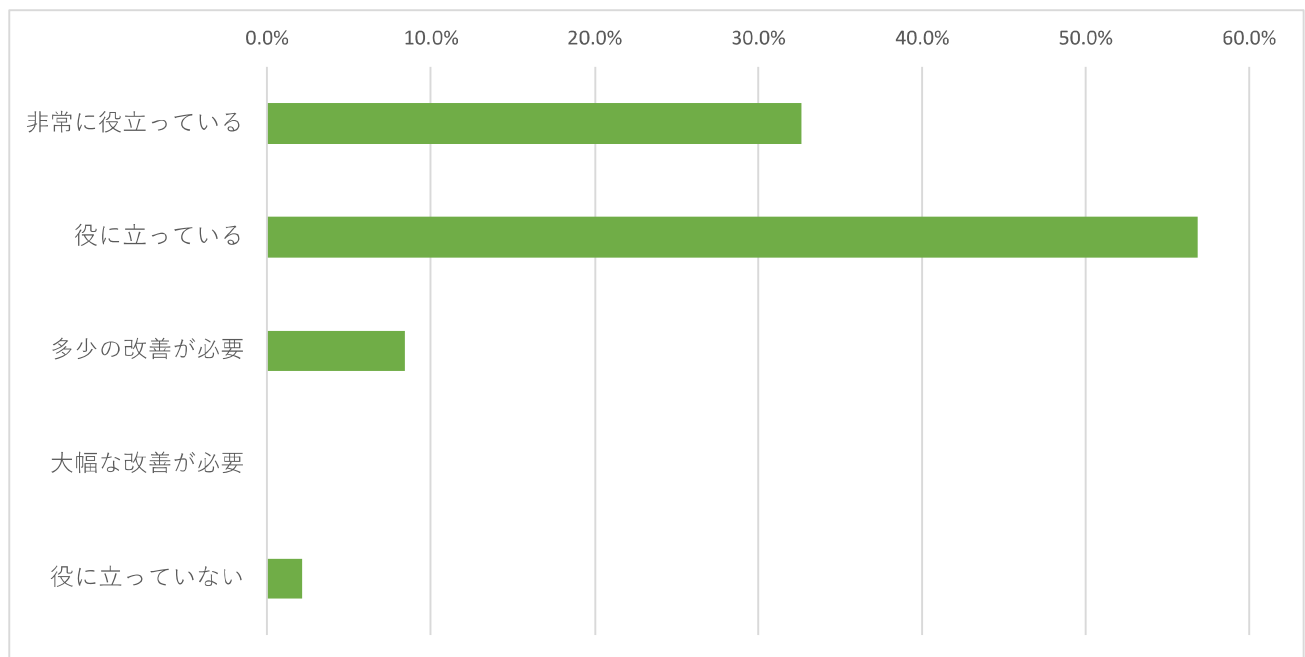
Q6. 本学で学ぶ学生が特に身につけた方が良いと思う力はなんですか。ひとつお選びください。



項目	人数	比率
A：コミュニケーション能力	29名	30.5%
B：自己理解・主体的行動	16名	16.8%
C：課題発見・対応能力、企画力、計画力	17名	17.9%
D：創造力・論理的思考力	9名	9.5%
E：学習習慣・自己啓発力	3名	3.2%
F：コンプライアンス・倫理観・モラル	1名	1.1%
G：文章表現力・数的処理能力	1名	1.1%
H：情報通信技術（ICT）活用力	2名	2.1%
I：チームワーク	3名	3.2%
J：一般的知識・幅広い教養	7名	7.4%
K：統計分析・数値的分析力	2名	2.1%
L：社会課題の俯瞰的理解力	3名	3.2%
M：その他	2名	2.1%
合計	95名	100.0%

- ・身につけた方が良い力として、最も多かったのが『A:コミュニケーション能力』で、3割の方が選択した。
- ・ついで『C：課題発見・対応能力、企画力、計画力』『B：自己理解・主体的行動』『D：創造力・論理的思考力』という結果となった。

Q7. 卒業後から今日までを振り返り、本学の教育をどのように評価しますか。



項目	人数	比率
非常に役立っている	31名	32.6%
役に立っている	54名	56.8%
多少の改善が必要	8名	8.4%
大幅な改善が必要	0名	0.0%
役に立っていない	2名	2.1%
合計	95名	100%

- ・卒業後の教育への評価としては「非常に役立っている」が31名（32.6%）、「役に立っている」が54名（56.8%）と、約9割の方が高く評価している。
- ・一方、「多少改善が必要」「役に立っていない」という意見も10名より頂いた。

卒業生のキャリア状況調査に対するアンケート結果について

【就職先企業対象】

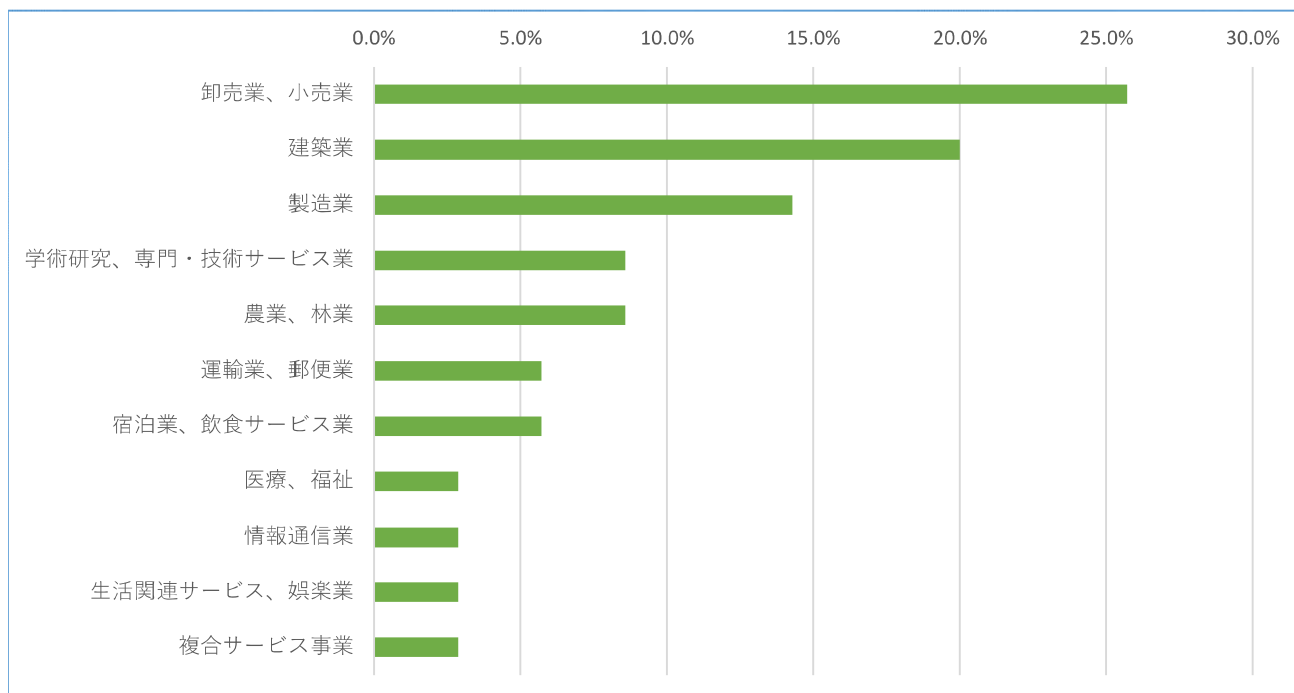
本アンケートは、東京農業大学の卒業生及び卒業生の就職先企業における働く上で必要とされている能力や経験、本学に対するお考え等をお伺いし、その結果を本学の教育改革に適切に反映して、教育の質向上を図ることを目的としたものです。

■ 調査概要

【就職先企業アンケート】

調査対象	令和4年度卒業生の就業先企業のうち、メールアドレスが判明した企業様
調査期間	2024年5月15日～6月14日（32日間）
調査方法	①作成したメーリングリストに基づき、アンケート協力依頼メールを配信 ②依頼メール記載のURLへアクセス頂き、回答 ※Microsoft Formsを利用 ※無記名方式にて実施
調査依頼数	158社
回答数	35社
回答率	22.2%
質問項目数	18問
平均回答時間	12分31秒

FACE 1. 貴社・貴団体の業種をお知らせください。

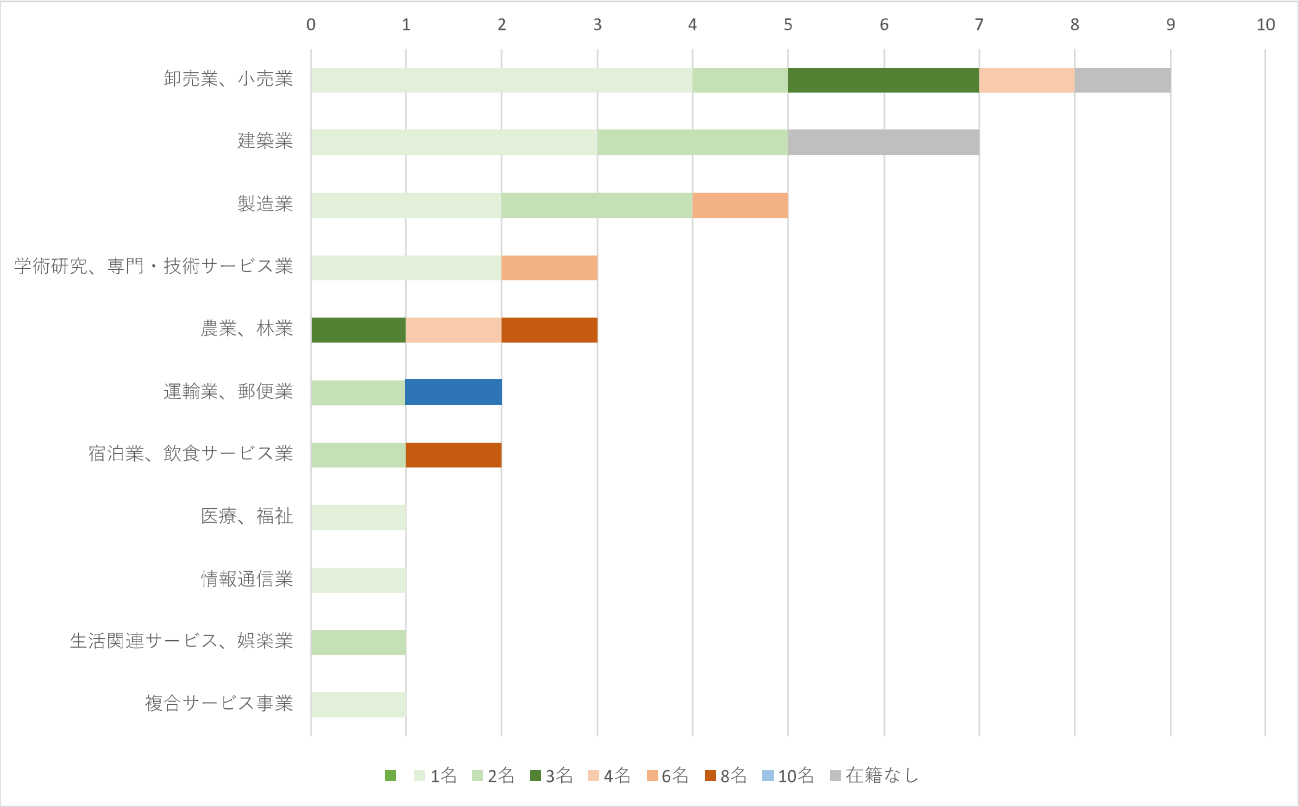


項目	合計	比率
卸売業、小売業	9社	25.7%
建築業	7社	20.0%
製造業	5社	14.3%
学術研究、専門・技術サービス業	3社	8.6%
農業、林業	3社	8.6%
運輸業、郵便業	2社	5.7%
宿泊業、飲食サービス業	2社	5.7%
医療、福祉	1社	2.9%
情報通信業	1社	2.9%
生活関連サービス、娯楽業	1社	2.9%
複合サービス事業	1社	2.9%
合計	35社	100%

【FACE情報①】

- ・全体では11業種の企業様よりご協力頂いた。
- ・最も多かった業種は『卸売業、小売業』の9社（25.7%）次いで『建築業』7社（20.0%）『製造業』5社（14.3%）。上位3業種で全体の6割を占めた。

F2. 令和5年度入社の本学卒業生の在籍人数をお教えてください。

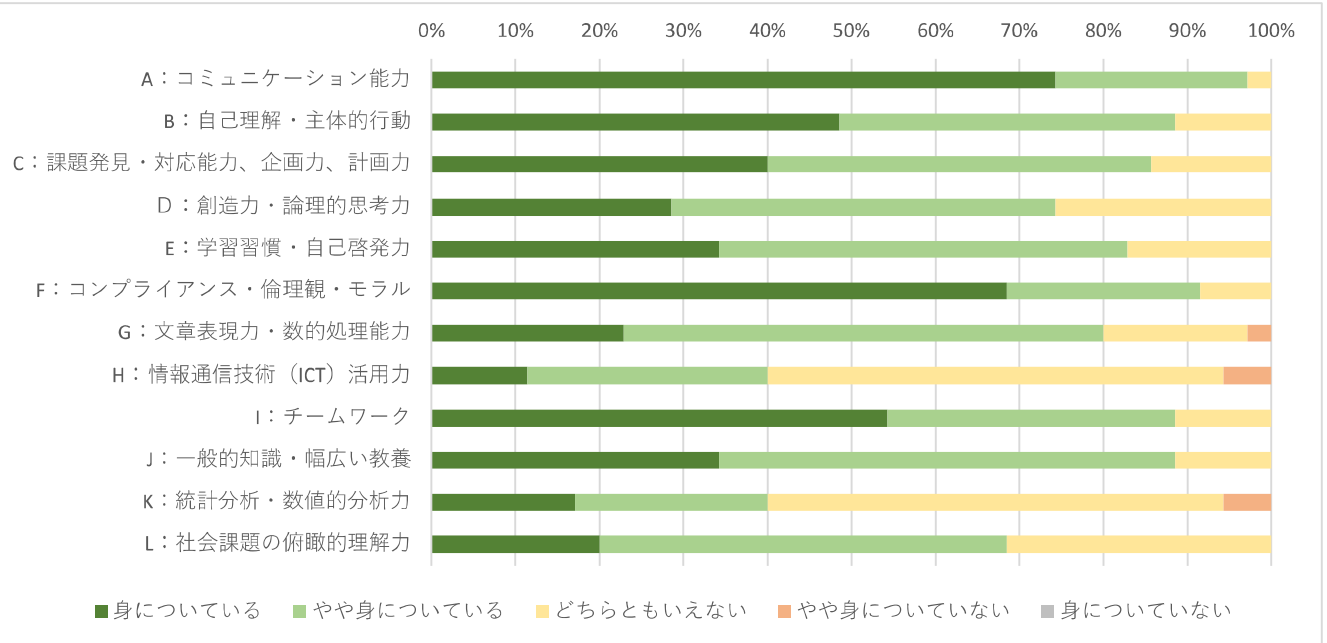


項目	1名	2名	3名	4名	6名	8名	10名	在籍なし	人数	比率
卸売業、小売業	4社	1社	2社	1社				1社	9社	25.7%
建築業	3社	2社						2社	7社	20.0%
製造業	2社	2社			1社				5社	14.3%
学術研究、専門・技術サービス業	2社				1社				3社	8.6%
農業、林業			1社	1社		1社			3社	8.6%
運輸業、郵便業		1社					1社		2社	5.7%
宿泊業、飲食サービス業		1社				1社			2社	5.7%
医療、福祉	1社								1社	2.9%
情報通信業	1社								1社	2.9%
生活関連サービス、娯楽業		1社							1社	2.9%
複合サービス事業	1社								1社	2.9%
合計	14社	8社	3社	2社	2社	2社	1社	3社	35社	100.0%
比率	40.0%	22.9%	8.6%	5.7%	5.7%	5.7%	2.9%	8.6%	100.0%	

【FACE情報②】

- ・卒業生の在籍数で最も多かったのは「1名」14社（40％）
- ・次いで2名、3名と続くが、『運輸業、郵便業』にて「10名」という回答が1社あり。
- ・また、「0名（在籍無し）」と回答頂いた企業様も3社あった。

Q1. 次の質問に掲げる能力・資質は、中央教育審議会答申や経済産業省が提唱する「社会人基礎力」等に基づき、社会人として必要と思われる能力・資質を類型化したものです。東京農業大学の卒業生・修了生が次の表の能力・資質を身に付けているかについて、AからLの項目ごとに該当する回答をご選択ください。



項目	身に付いている	やや身に付いている	どちらともいえない	やや身に付いていない	身に付いていない	合計
A：コミュニケーション能力	26社	8社	1社			35社
B：自己理解・主体的行動	17社	14社	4社			35社
C：課題発見・対応能力、企画力、計画力	14社	16社	5社			35社
D：創造力・論理的思考力	10社	16社	9社			35社
E：学習習慣・自己啓発力	12社	17社	6社			35社
F：コンプライアンス・倫理観・モラル	24社	8社	3社			35社
G：文章表現力・数的処理能力	8社	20社	6社	1社		35社
H：情報通信技術（ICT）活用力	4社	10社	19社	2社		35社
I：チームワーク	19社	12社	4社			35社
J：一般的知識・幅広い教養	12社	19社	4社			35社
K：統計分析・数値的分析力	6社	8社	19社	2社		35社
L：社会課題の俯瞰的理解力	7社	17社	11社			35社

・『A：コミュニケーション能力』については、35社中34社が身についているという回答。
 （「どちらともいえない」と回答頂いた1社は令和5年卒生採用無し企業様）

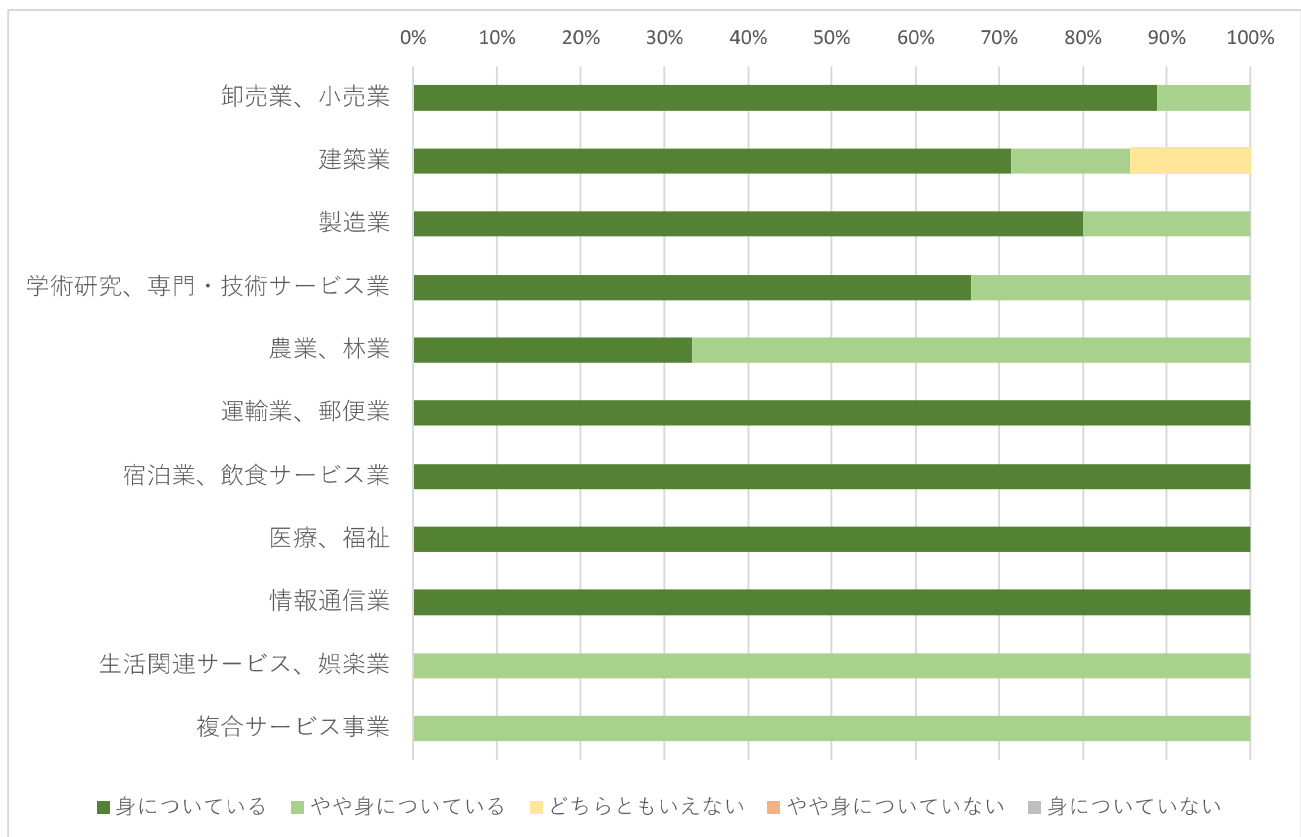
・そのほか、多くの項目が8～9割が身についていると回答頂いた。

・一方、「やや身に付いていない」という評価のあった項目は『G：文章表現力・数的処理能力』
 『H：情報通信技術（ICT）活用力』『K：統計分析・数値的分析力』
 特に『H：情報通信技術（ICT）活用力』『K：統計分析・数値的分析力』は身についている割合も4割に留まった。

Q1. A～L以外で身に付けていたことがあれば、お知らせください。

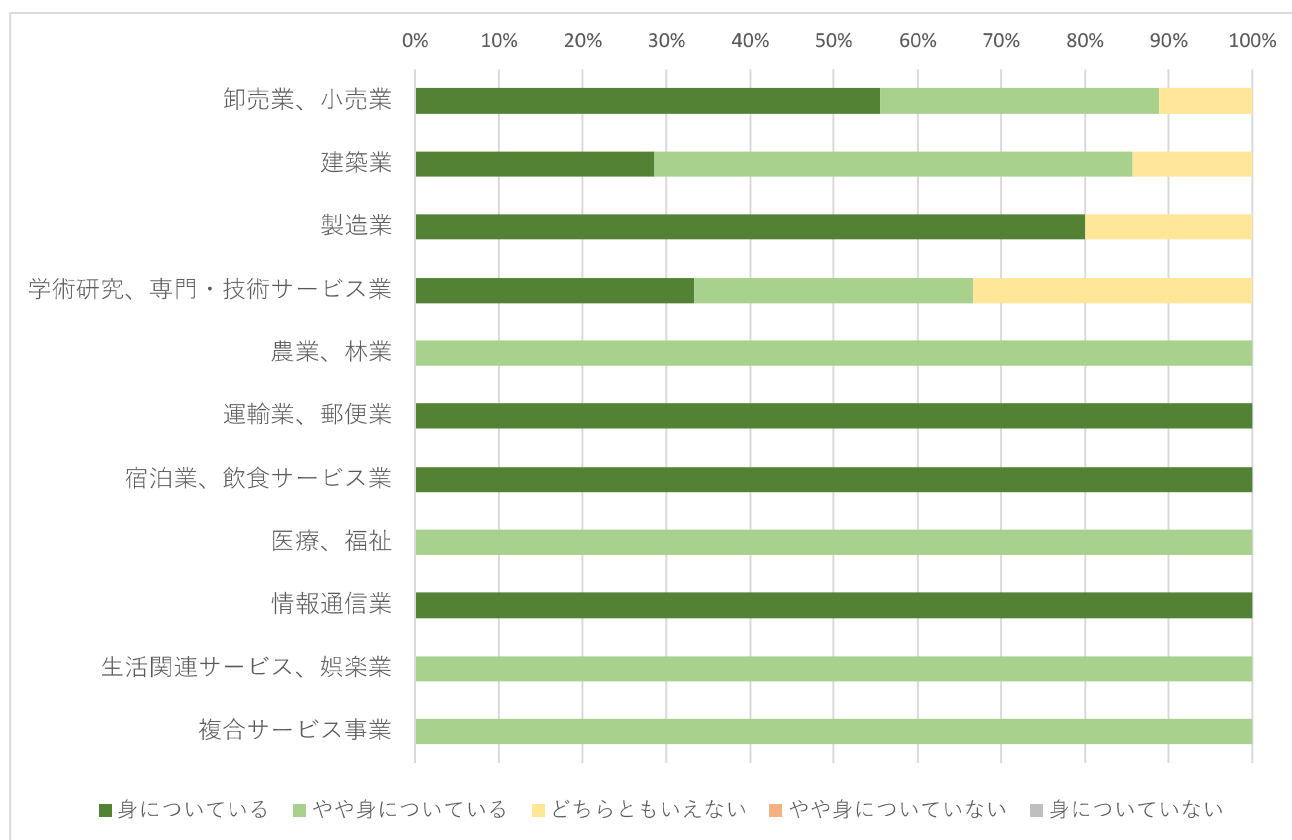
項目	業種	2社
共感力	医療、福祉	1社
採用できていないので分からない	建築業	1社

Q1. A : コミュニケーション能力について（業種別傾向）



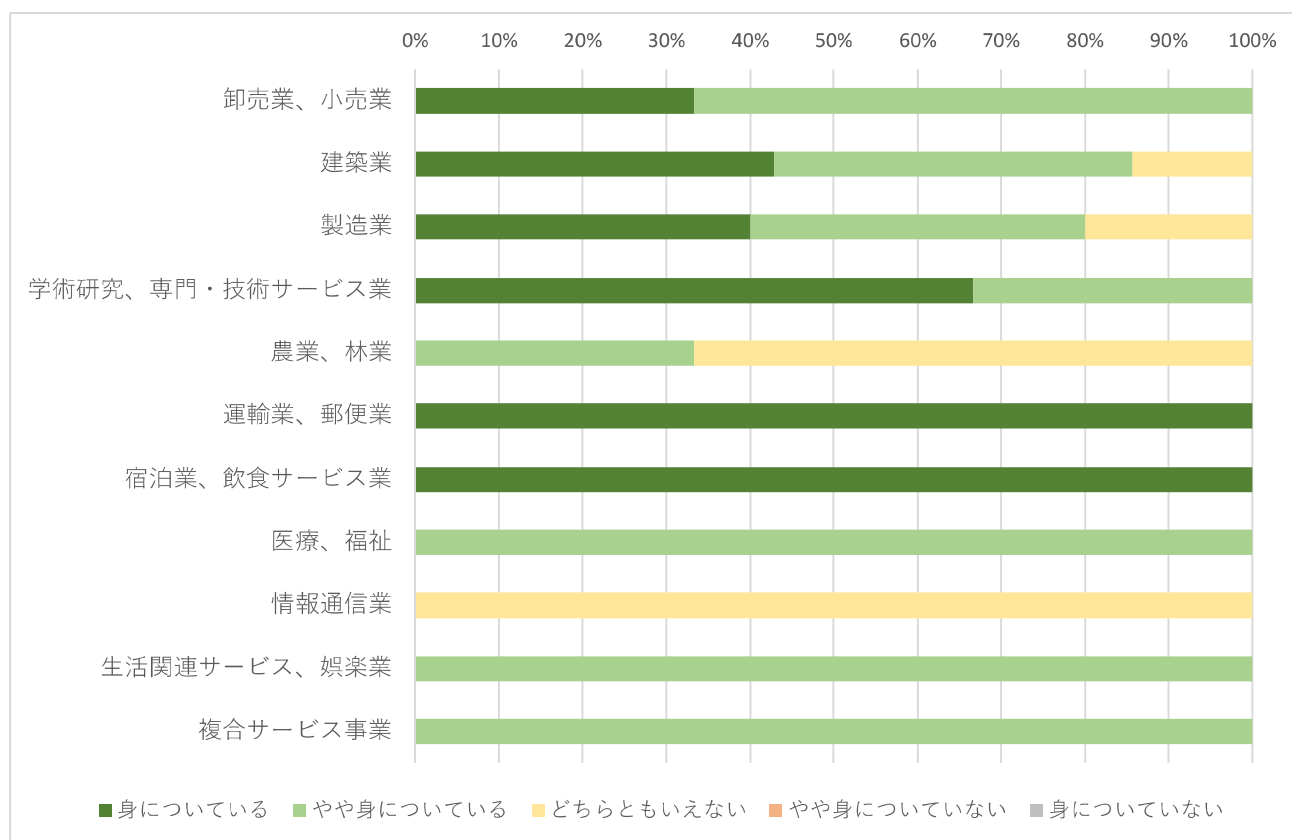
項目	身についている	やや身についている	どちらともいえない	やや身についていない	身についていない	合計
卸売業、小売業	8社	1社				9社
建築業	5社	1社	1社			7社
製造業	4社	1社				5社
学術研究、専門・技術サービス業	2社	1社				3社
農業、林業	1社	2社				3社
運輸業、郵便業	2社					2社
宿泊業、飲食サービス業	2社					2社
医療、福祉	1社					1社
情報通信業	1社					1社
生活関連サービス、娯楽業		1社				1社
複合サービス事業		1社				1社
合計	26社	8社	1社	0社	0社	35社
割合	74.3%	22.9%	2.9%	0.0%	0.0%	100.0%

Q1. B：自己理解・主体的行動（業種別傾向）



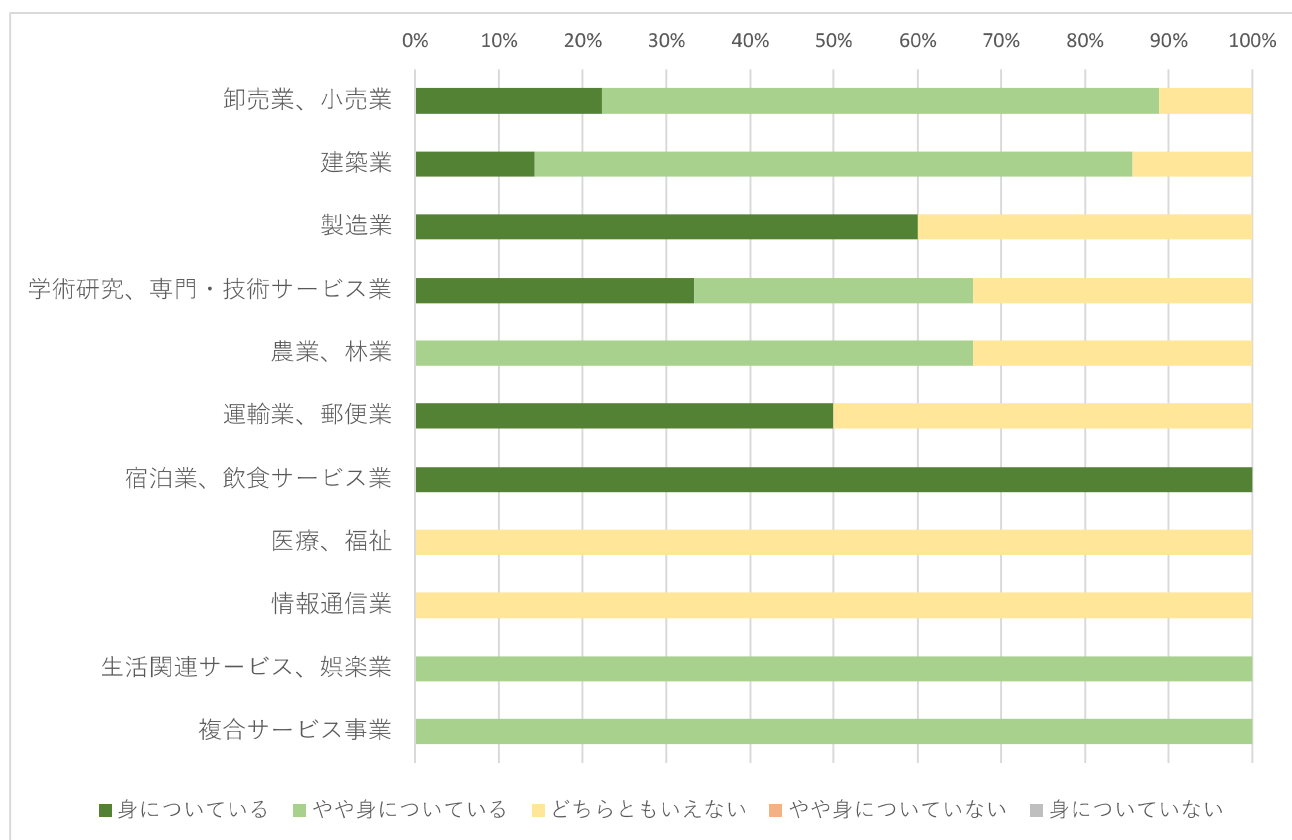
項目	身についている	やや身についている	どちらともいえない	やや身についていない	身についていない	合計
卸売業、小売業	5社	3社	1社			9社
建築業	2社	4社	1社			7社
製造業	4社		1社			5社
学術研究、専門・技術サービス業	1社	1社	1社			3社
農業、林業		3社				3社
運輸業、郵便業	2社					2社
宿泊業、飲食サービス業	2社					2社
医療、福祉		1社				1社
情報通信業	1社					1社
生活関連サービス、娯楽業		1社				1社
複合サービス事業		1社				1社
合計	17社	14社	4社	0社	0社	35社
割合	48.6%	40.0%	11.4%	0.0%	0.0%	100.0%

Q1. C：課題発見・対応能力、企画力、計画力（業種別傾向）



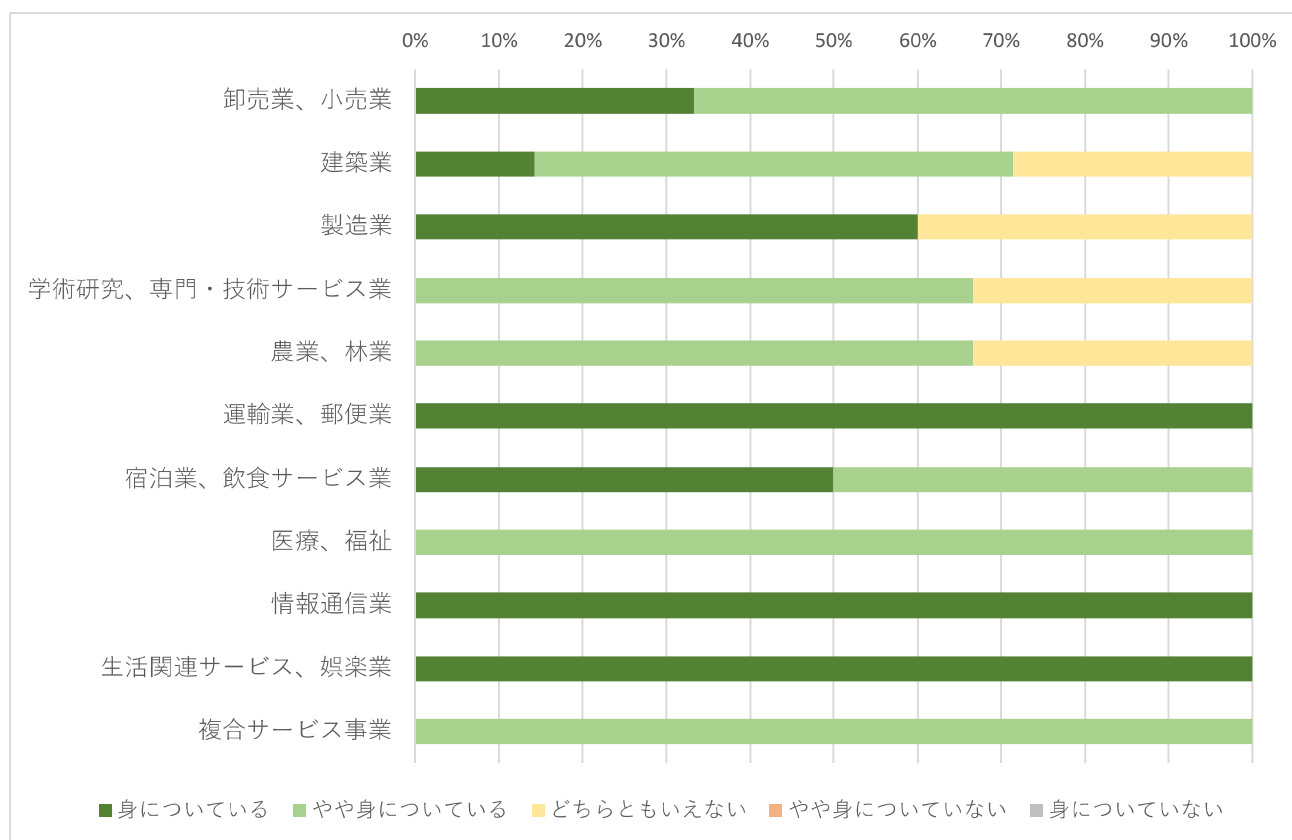
項目	身についている	やや身についている	どちらともいえない	やや身についていない	身についていない	合計
卸売業、小売業	3社	6社				9社
建築業	3社	3社	1社			7社
製造業	2社	2社	1社			5社
学術研究、専門・技術サービス業	2社	1社				3社
農業、林業		1社	2社			3社
運輸業、郵便業	2社					2社
宿泊業、飲食サービス業	2社					2社
医療、福祉		1社				1社
情報通信業			1社			1社
生活関連サービス、娯楽業		1社				1社
複合サービス事業		1社				1社
合計	14社	16社	5社	0社	0社	35社
割合	40.0%	45.7%	14.3%	0.0%	0.0%	100.0%

Q1. D : 創造力・論理的思考力（業種別傾向）



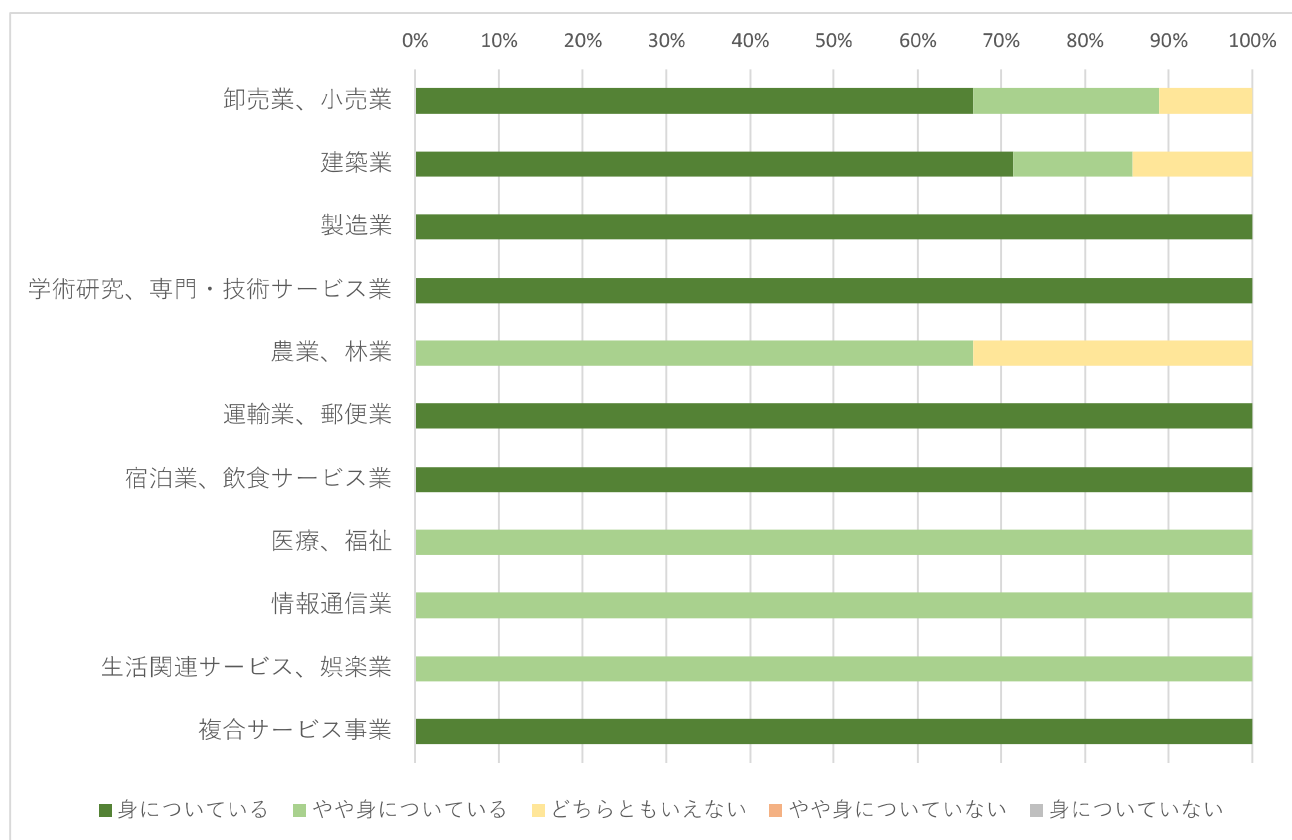
項目	身についている	やや身についている	どちらともいえない	やや身についていない	身についていない	合計
卸売業、小売業	2社	6社	1社			9社
建築業	1社	5社	1社			7社
製造業	3社		2社			5社
学術研究、専門・技術サービス業	1社	1社	1社			3社
農業、林業		2社	1社			3社
運輸業、郵便業	1社		1社			2社
宿泊業、飲食サービス業	2社					2社
医療、福祉			1社			1社
情報通信業			1社			1社
生活関連サービス、娯楽業		1社				1社
複合サービス事業		1社				1社
合計	10社	16社	9社	0社	0社	35社
割合	28.6%	45.7%	25.7%	0.0%	0.0%	100.0%

Q1. E：学習習慣・自己啓発力（業種別傾向）



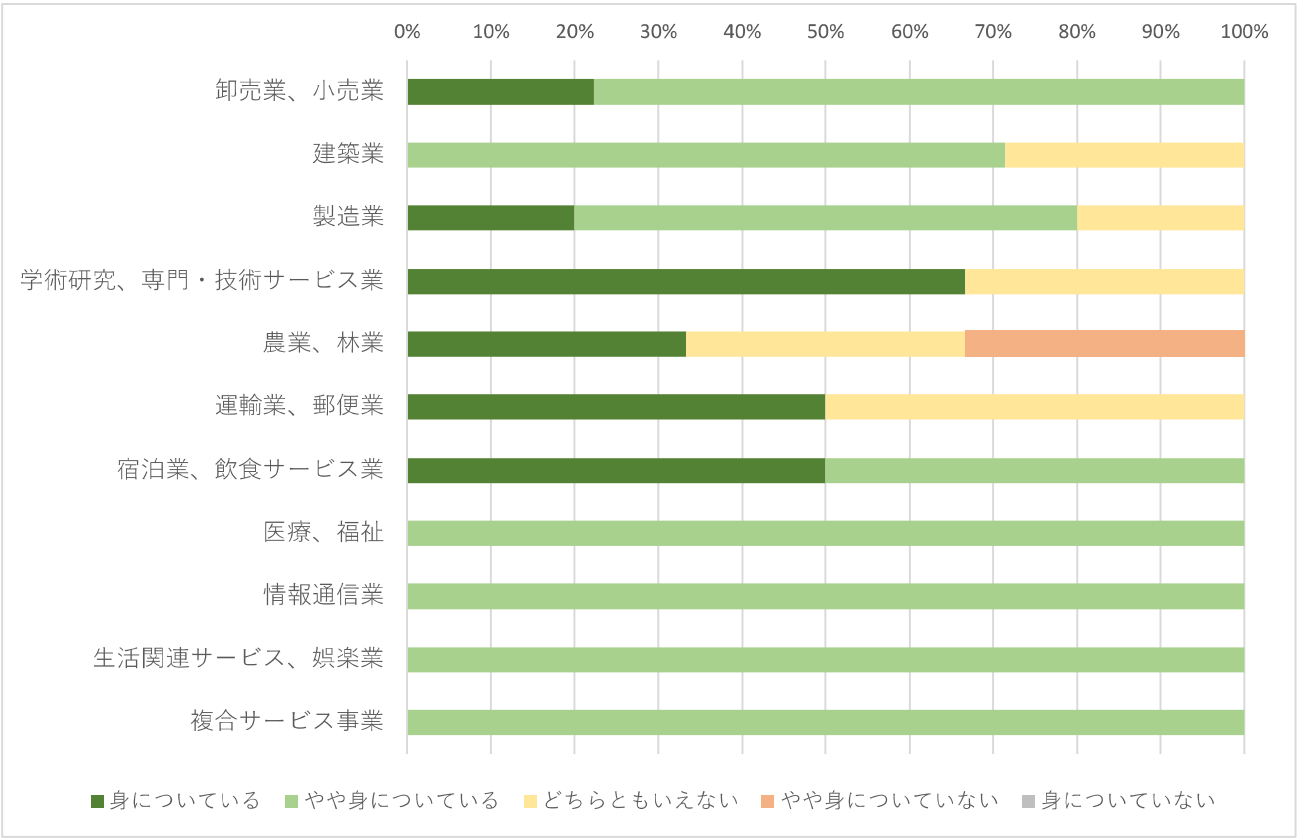
項目	身についている	やや身についている	どちらともいえない	やや身についていない	身についていない	合計
卸売業、小売業	3社	6社				9社
建築業	1社	4社	2社			7社
製造業	3社		2社			5社
学術研究、専門・技術サービス業		2社	1社			3社
農業、林業		2社	1社			3社
運輸業、郵便業	2社					2社
宿泊業、飲食サービス業	1社	1社				2社
医療、福祉		1社				1社
情報通信業	1社					1社
生活関連サービス、娯楽業	1社					1社
複合サービス事業		1社				1社
合計	12社	17社	6社	0社	0社	35社
割合	34.3%	48.6%	17.1%	0.0%	0.0%	100.0%

Q1. F：コンプライアンス・倫理観・モラル（業種別傾向）



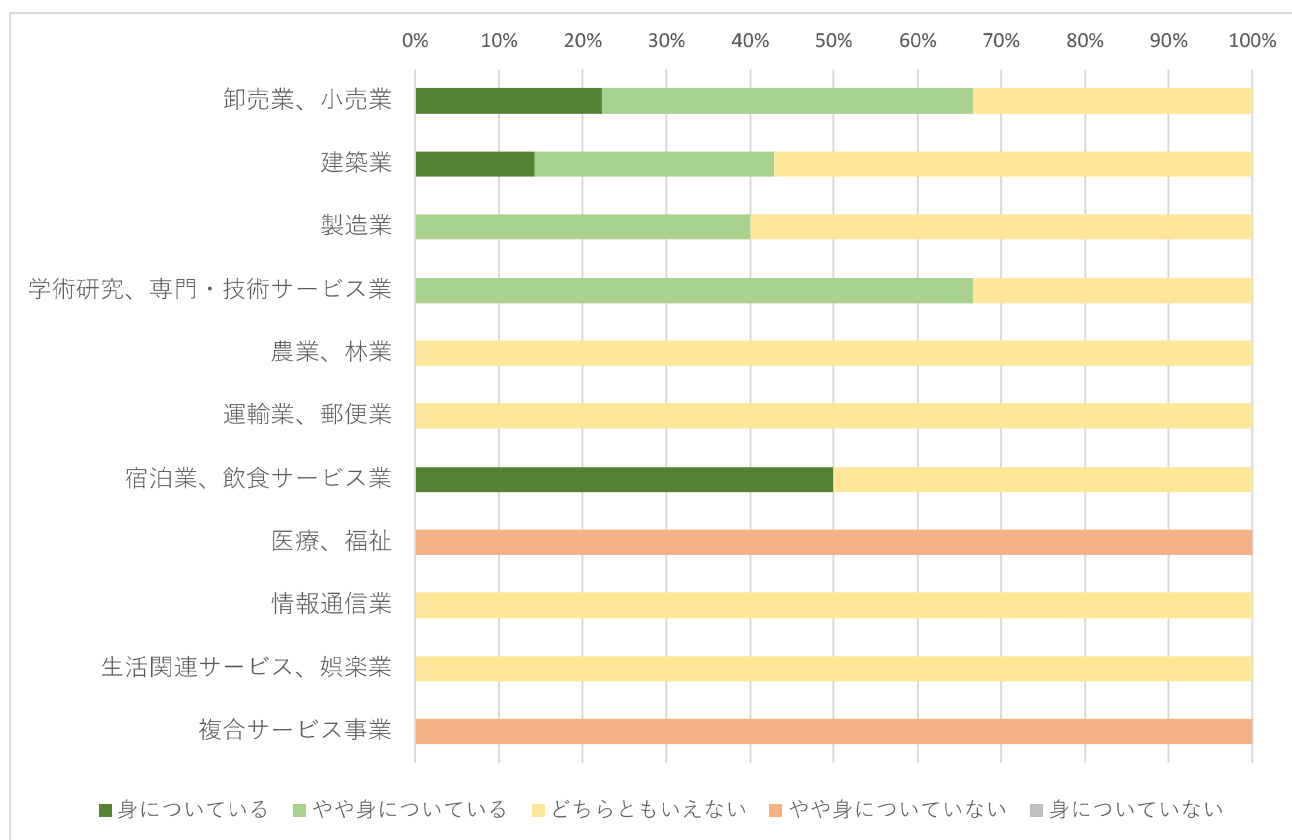
項目	身についている	やや身についている	どちらともいえない	やや身についていない	身についていない	合計
卸売業、小売業	6社	2社	1社			9社
建築業	5社	1社	1社			7社
製造業	5社					5社
学術研究、専門・技術サービス業	3社					3社
農業、林業		2社	1社			3社
運輸業、郵便業	2社					2社
宿泊業、飲食サービス業	2社					2社
医療、福祉		1社				1社
情報通信業		1社				1社
生活関連サービス、娯楽業		1社				1社
複合サービス事業	1社					1社
合計	24社	8社	3社	0社	0社	35社
割合	68.6%	22.9%	8.6%	0.0%	0.0%	100.0%

Q1. G : 文章表現力・数的処理能力（業種別傾向）



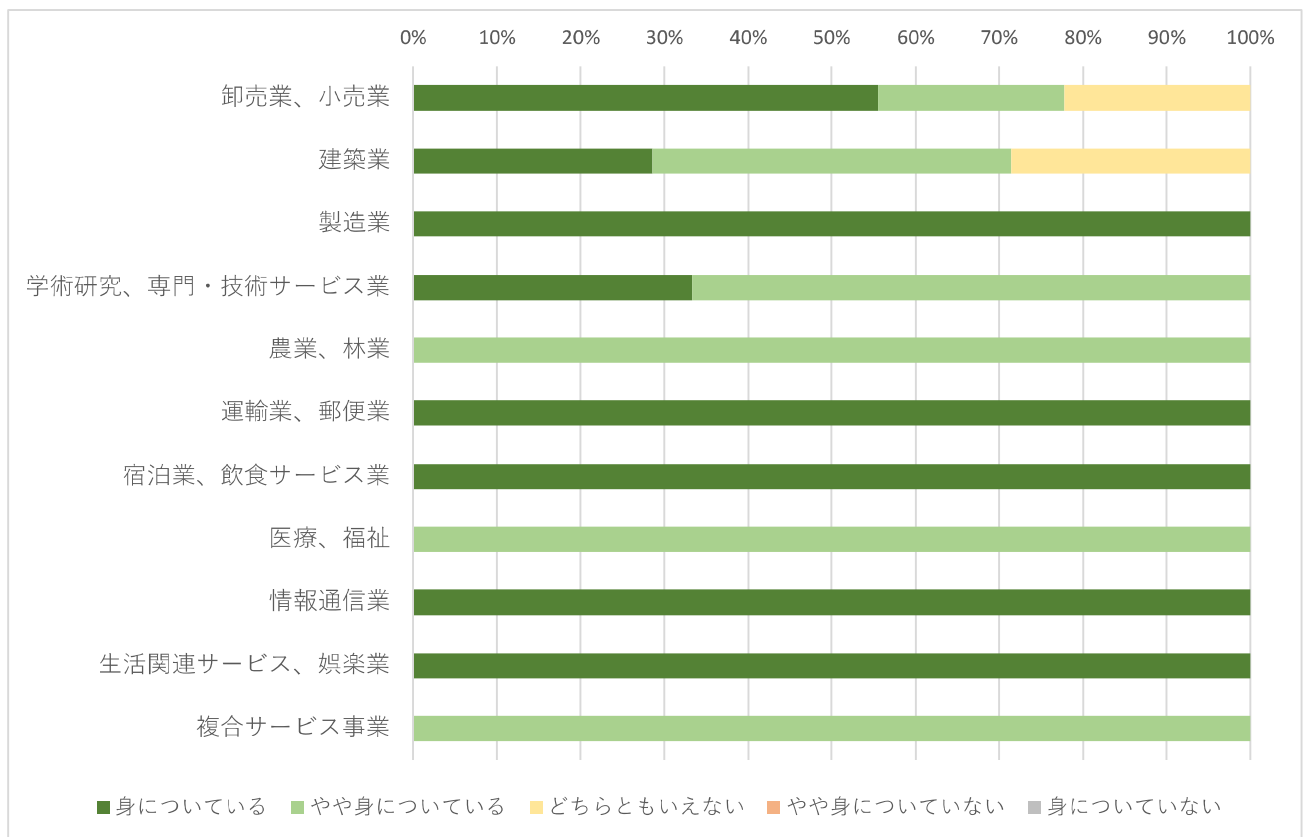
項目	身についている	やや身についている	どちらともいえない	やや身についていない	身についていない	合計
卸売業、小売業	2社	7社				9社
建築業		5社	2社			7社
製造業	1社	3社	1社			5社
学術研究、専門・技術サービス業	2社		1社			3社
農業、林業	1社		1社	1社		3社
運輸業、郵便業	1社		1社			2社
宿泊業、飲食サービス業	1社	1社				2社
医療、福祉		1社				1社
情報通信業		1社				1社
生活関連サービス、娯楽業		1社				1社
複合サービス事業		1社				1社
合計	8社	20社	6社	1社	0社	35社
割合	22.9%	57.1%	17.1%	2.9%	0.0%	100.0%

Q1. H：情報通信技術（ICT）活用力（業種別傾向）



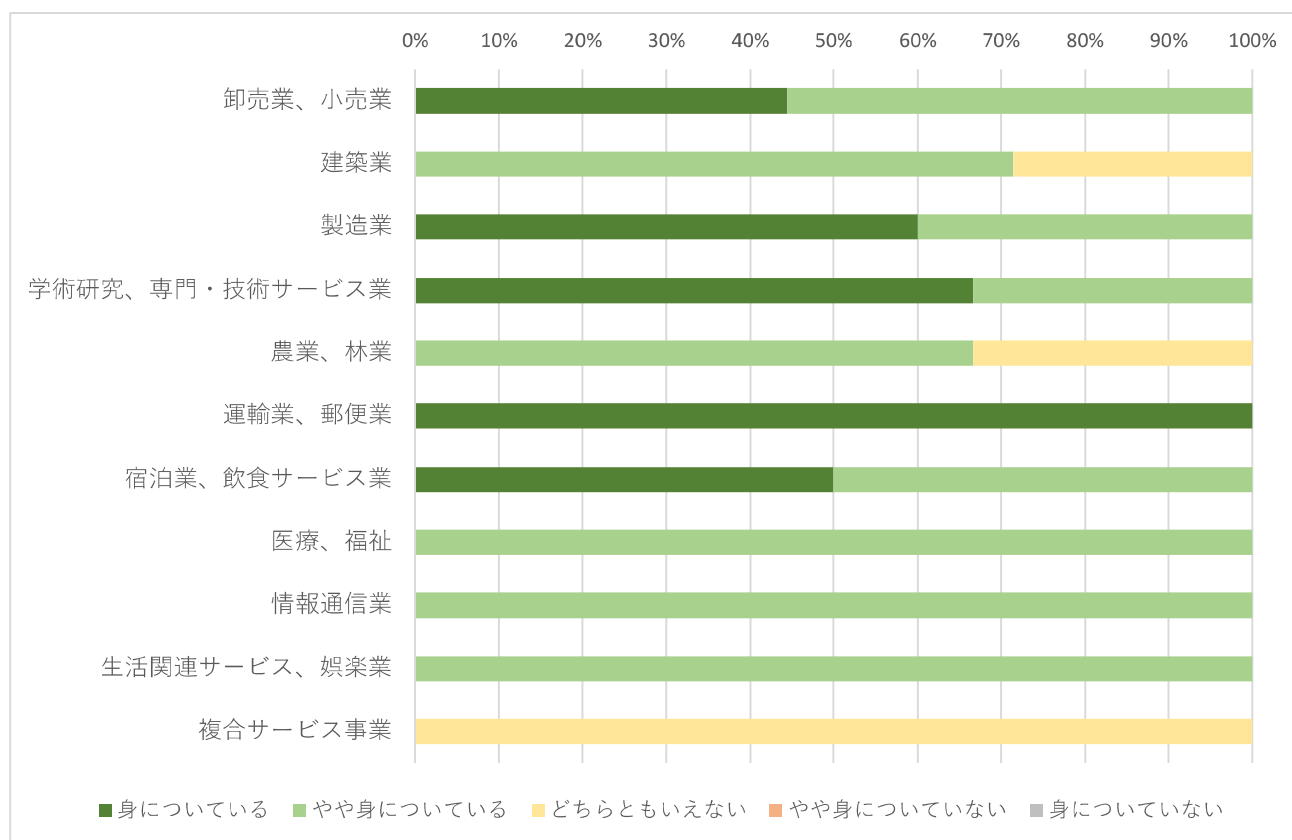
項目	身についている	やや身についている	どちらともいえない	やや身についていない	身についていない	合計
卸売業、小売業	2社	4社	3社			9社
建築業	1社	2社	4社			7社
製造業		2社	3社			5社
学術研究、専門・技術サービス業		2社	1社			3社
農業、林業			3社			3社
運輸業、郵便業			2社			2社
宿泊業、飲食サービス業	1社		1社			2社
医療、福祉				1社		1社
情報通信業			1社			1社
生活関連サービス、娯楽業			1社			1社
複合サービス事業				1社		1社
合計	4社	10社	19社	2社	0社	35社
割合	11.4%	28.6%	54.3%	5.7%	0.0%	100.0%

Q1. I: チームワーク（業種別傾向）



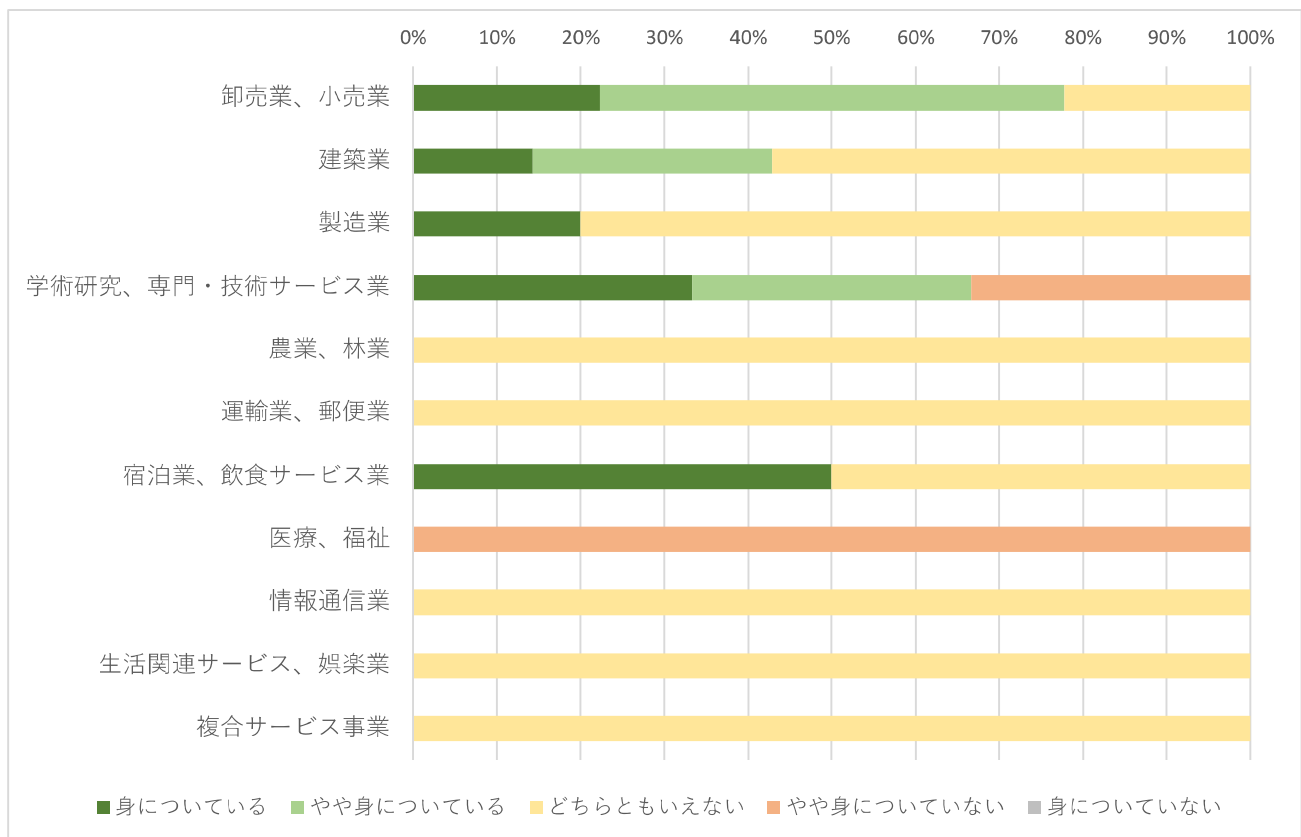
項目	身についている	やや身についている	どちらともいえない	やや身についていない	身についていない	合計
卸売業、小売業	5社	2社	2社			9社
建築業	2社	3社	2社			7社
製造業	5社					5社
学術研究、専門・技術サービス業	1社	2社				3社
農業、林業		3社				3社
運輸業、郵便業	2社					2社
宿泊業、飲食サービス業	2社					2社
医療、福祉		1社				1社
情報通信業	1社					1社
生活関連サービス、娯楽業	1社					1社
複合サービス事業		1社				1社
合計	19社	12社	4社	0社	0社	35社
割合	54.3%	34.3%	11.4%	0.0%	0.0%	100.0%

Q1. J：一般的知識・幅広い教養（業種別傾向）



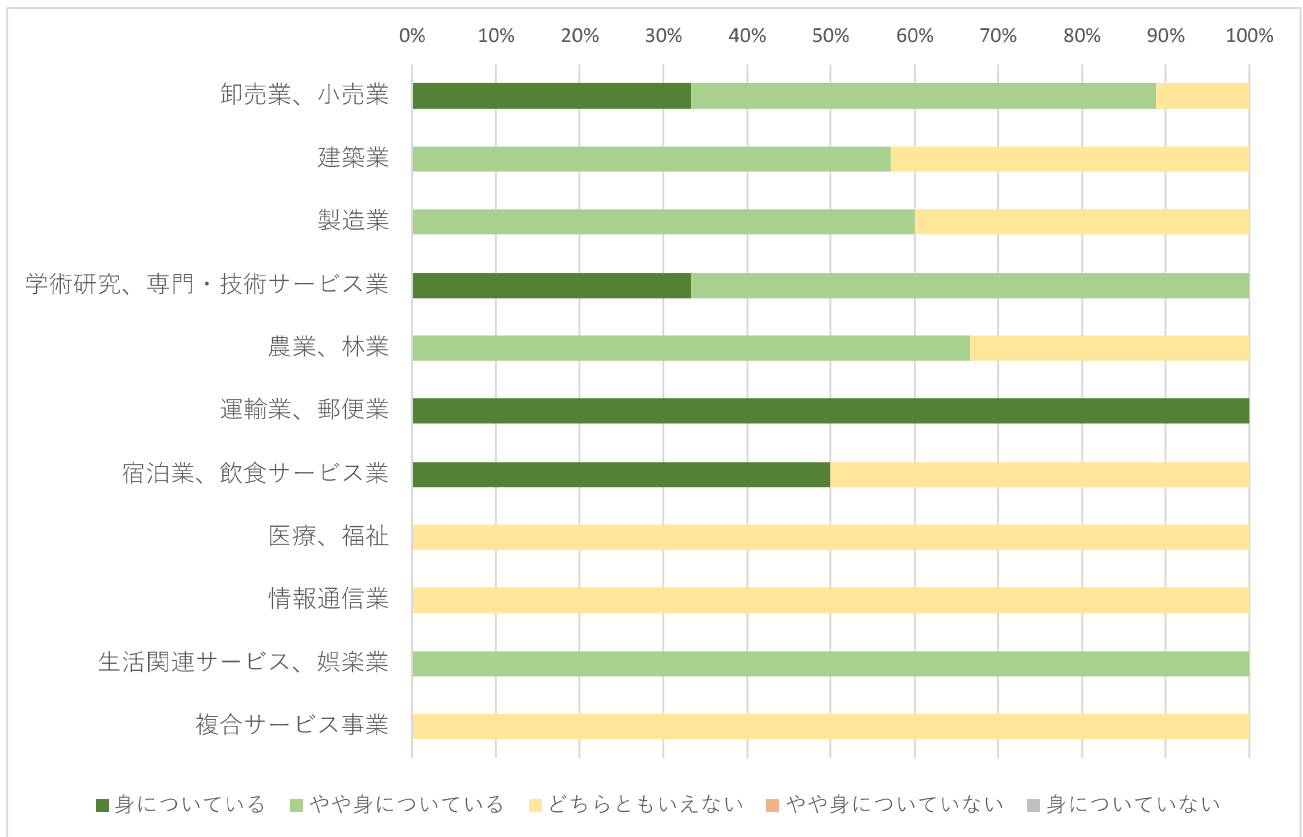
項目	身につけている	やや身につけている	どちらともいえない	やや身につけていない	身につけていない	合計
卸売業、小売業	4社	5社				9社
建築業		5社	2社			7社
製造業	3社	2社				5社
学術研究、専門・技術サービス業	2社	1社				3社
農業、林業		2社	1社			3社
運輸業、郵便業	2社					2社
宿泊業、飲食サービス業	1社	1社				2社
医療、福祉		1社				1社
情報通信業		1社				1社
生活関連サービス、娯楽業		1社				1社
複合サービス事業			1社			1社
合計	12社	19社	4社	0社	0社	35社
割合	34.3%	54.3%	11.4%	0.0%	0.0%	100.0%

Q1. K：統計分析・数値的分析力（業種別傾向）



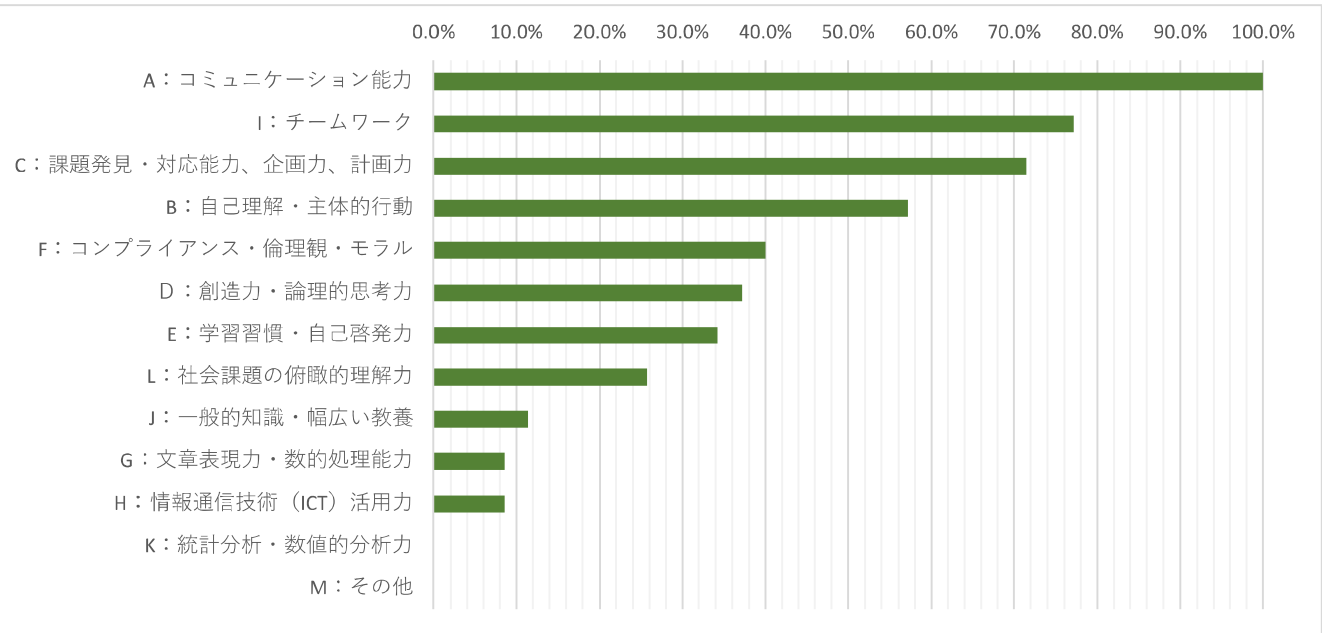
項目	身についている	やや身についている	どちらともいえない	やや身についていない	身についていない	合計
卸売業、小売業	2社	5社	2社			9社
建築業	1社	2社	4社			7社
製造業	1社		4社			5社
学術研究、専門・技術サービス業	1社	1社		1社		3社
農業、林業			3社			3社
運輸業、郵便業			2社			2社
宿泊業、飲食サービス業	1社		1社			2社
医療、福祉				1社		1社
情報通信業			1社			1社
生活関連サービス、娯楽業			1社			1社
複合サービス事業			1社			1社
合計	6社	8社	19社	2社	0社	35社
割合	17.1%	22.9%	54.3%	5.7%	0.0%	100.0%

Q1. L：社会課題の俯瞰的理解力（業種別傾向）



項目	身についている	やや身についている	どちらともいえない	やや身についていない	身についていない	合計
卸売業、小売業	3社	5社	1社			9社
建築業		4社	3社			7社
製造業		3社	2社			5社
学術研究、専門・技術サービス業	1社	2社				3社
農業、林業		2社	1社			3社
運輸業、郵便業	2社					2社
宿泊業、飲食サービス業	1社		1社			2社
医療、福祉			1社			1社
情報通信業			1社			1社
生活関連サービス、娯楽業		1社				1社
複合サービス事業			1社			1社
合計	7社	17社	11社	0社	0社	35社
割合	20.0%	48.6%	31.4%	0.0%	0.0%	100.0%

Q2. (A) ～ (M) の能力・資質のうち、貴社・貴団体にとって必要とお考えになるものについて、5つお選びください。



項目	合計	割合
A : コミュニケーション能力	35社	100.0%
I : チームワーク	27社	77.1%
C : 課題発見・対応能力、企画力、計画力	25社	71.4%
B : 自己理解・主体的行動	20社	57.1%
F : コンプライアンス・倫理観・モラル	14社	40.0%
D : 創造力・論理的思考力	13社	37.1%
E : 学習習慣・自己啓発力	12社	34.3%
L : 社会課題の俯瞰的理解力	9社	25.7%
J : 一般的知識・幅広い教養	4社	11.4%
G : 文章表現力・数的処理能力	3社	8.6%
H : 情報通信技術 (ICT) 活用力	3社	8.6%
K : 統計分析・数値的分析力	0社	0.0%
M : その他	0社	0.0%

- ・各項目を選択された割合順に並び変えたところ、対象全社が必要と考えたのは『A : コミュニケーション能力』
- ・次いで『I : チームワーク』27社（77.1%）『C : 課題発見・対応能力、企画力、計画力』25社（71.4%）
- ・逆にどの企業様からも選択されなかったのは『K : 統計分析・数値的分析力』
- ・業種によっても、重視する項目に傾向の違いあり
- 卸売業、小売業 …『C : 課題発見・対応能力、企画力、計画力』・『I : チームワーク』・『B : 自己理解・主体的行動』
- 建築業 …『B : 自己理解・主体的行動』・『I : チームワーク』・『D : 創造力・論理的思考力』
- 製造業 …『C : 課題発見・対応能力、企画力、計画力』
- 学術研究、専門・技術サービス業、農業・林業では『B : 自己理解・主体的行動』はほぼ選択されなかった。

Q3.本学の教育に対する、要望や改善点、在学生に期待することなどをご記入ください。

卸売業、小売業
課題や疑問に真摯に向き合う傾向があり、社内でも大きな存在感を放っています。 より主体的に行動できる人材を期待します。
真面目で誠実な学生が多く、今年度も採用出来ればと考えております。
特になし
コミュニケーション力を高める環境づくりに傾注していただき、 企業組織の中でもお互いを思いやる気持ちを持てる人物が育つことを期待しています。
お世話になっております。この度は1名入社いただき、ありがとうございました。 配属店舗では学んだ植物を活かし、店舗作りに貢献いただいております。 引き続き、宜しくお願いいたします。
現役だけでも貴校卒業生が20名弱在籍し、活躍してくれています。 今度ともよろしく願います。
何事に関しても、自ら率先して動ける力を期待しています。
多くの学生さんをご紹介願います
農業を通じて社会課題の解決に取り組む姿勢に期待します
建築業
明るく前向き、そして積極的な学生さんばかりで積極的に採用させて いただいております。 今後とも、宜しくお願いいたします。
コミュニケーション能力、チームワークを大切にできる方に ぜひご入社いただきたいです。
貴校卒の社員には、周囲を観察して行動する力が備わっていると感じています。 特に、研究等を通じてフィールドで活動する経験は、学生にとって貴重な経験だと思いますので、 継続して実施いただけると幸いです。
専門技術の深淵
特にございません。
自己分析（自分を俯瞰的にみる）が優れていると社会人として自分がどうなるべきかの 創造力などが自然とでき、役に立つと思われます。
特に改善点等ございません

Q3.本学の教育に対する、要望や改善点、在学生に期待することなどをご記入ください。

製造業
特にございません。
今後も、これまでと変わらず「食への興味関心の高さ」を期待しております。
当社の属する食品業界に関する基礎知識を習得されており、今後とも積極的に採用していきたい
ぜひ学生生活を悔いなく有効に活用し、有意義にお過ごしいただきたいと思います！
指示されたことに対してだけでなく、自発的行動力が強化されるとより良いかと思います。
食への興味関心、社会課題への挑戦など、今まで同様に期待したいと考えております。
学術研究、専門・技術サービス業
特にありません。
弊社が建設コンサルタント業界という認知度のない業界にあり、土木系の学生中心とのイメージが強いですが、実は貴校のような農業系の技術士が活躍しております。
発展途上国では社会インフラの整備（ハード面）だけでなく、インフラ整備後の農業支援（ハード、ソフト面）でのサポートを行っております。
弊社のような業界を知って頂く機会を授業の講義などで与えて頂けると幸いです。
より多くの学習習慣の定着を期待します。
農業、林業
コミュニケーション能力が優れている方が多い印象なので、引き続き学生時代にたくさんの人と関わりコミュニケーション能力を養っていただければと期待しております。
引き続き農業を軸とした多種多様な価値観の醸成を期待いたします。
国内はもとより海外でも活躍が望める人材の育成。

Q3.本学の教育に対する、要望や改善点、在学生に期待することなどをご記入ください。

運輸業、郵便業
第2新卒で入社されたOBも在席していて、新卒だけではなくキャリア採用まで多樣的に採用しています。 物流倉庫内は、徐々にIT化も進んできていますので新しい発想とアイデアを期待しています。2025年度採用も何卒よろしくお願いいたします。
とくになし
宿泊業、飲食サービス業
専門職：求める人物像 「チームワークで業務を勧められるコミュニケーション能力、 新しい事にチャレンジしていく積極性」 総合職：求める人物像 「動き、考え、挑戦できる人」
毎年ご縁を賜りありがとうございます。 Q2で回答した5つの項目につきまして、ご入社頂いた学生様以外（選考参加者）も、しっかりと身に着けておられたと感じます。引き続きよろしくお願いいたします。
医療、福祉
貴校卒業生は前向きに非常に熱心に業務へ取り組んでくださっております。 引き続きよろしくお願いいたします。
情報通信業
紹介会社経由で入社していただきましたが、コミュニケーションスキルが高く、早い段階で同期の良いムードメーカー的存在になってくれました。 一般常識も兼ね備えており、現時点では問題なく活躍してくれています。
生活関連サービス、娯楽業
在学生に期待することは人との関わり方、コミュニケーション能力、素直さ
複合サービス事業
プレゼンテーションなど自分の考えをアウトプットする場と、それにいたる過程の勉強は社会に出て生きる能力かと思います。